



特別増資 500250 生協子ども基金 500252 にて毎週受け付けています、ご協力の程宜しくお願い致します。

COOP JOSO NEWS LETTER 2018 5-3

2018. 4. 30

facebook やって  
います!

COOP JOSO

News Letter

常総生活協同組合

発行 / 生協広報G



【ものづくり・人づくり・地域づくり】2018 年度活動テーマ ～素材を活かしてわが家の味～

# 2018 年度「地場の有機野菜セット」 がスタートです！



地元の「野菜セット」が勢ぞろいします！有機農業で土からこだわって作った野菜を、鮮度抜群でご自宅にお届けいたします。“お試し利用”もできますので、まだご利用されていない組合員さんは、この機会にぜひお試しください。

## 2018 年 5 月の予定

### ●生協基幹運営／地域活動・催し●

#### 【定期開催の催事】

- ・ ゴンタの丘「常総っこ応援団」は 5 月 10 日、5 月 24 日（アウトア試食会）の予定です。
- ・ 開催ゆるカフェ 5 月 18 日（金）に開催いたします。（綿くりをやる予定です）
- ・ 毎月第 1 土曜日に青空マルシェを開催しています。

- 5/1（火）私たちのくらしと憲法（常総生協 組合員活動室）
- 5/2（水）第 2 回総代・役員選挙管理委員会（常総生協）
- 5/3（木）桜朝市（つくば市柴崎 774-2）
- 5/5（土）青空マルシェ（常総生協本部）
- 5/7（月）脱原発とくらし見直し委員会
- 5/18（金）歴史を学ぼう－未来のために（常総生協 会議室）
- 5/30（水）定例理事会

### ●提携・協同・連帯企画●

- 5/12、13（土、日）甲状腺、血液検診（常総生協本部）
- 5/16（水）茨城県生協連理事会
- 5/23（水）業者会役員会
- 5/25（金）生協ネットワーク 21 専務交流会  
牛久どきどきファーム 出店
- 5/27（日）甲状腺検診（日立）

## 【常総生協の野菜セットについて】

常総生協の農産物の考え方として、「四里四方に病なし」の伝統的言い伝えに「理」がある（天地有機の「機」＝「理」と同じ意味合い）というものですが、現在では四里（約16km）というより、私たちの風土に育まれる身体性という意味で、「関東圏」の気候風土に根ざした食べものが大切と考えます。種の話でも気候風土に根付くには時間がかかることもあり、在来種などは特にその典型ともいえます。「身土不二」という考えをもとに、自分たちの食べものは自分たちの近くの畑でとれたものが一番と考えています。

農産物は商品というより食べもの＝「生命を支えるもとだね」です。画一的な見方をせず、様々な角度（堆肥づくりをしているか？作物づくりをどのように考えているか？など）から生産者と協議しています。したがって、単に農薬の使用状況のみならず、生産者の作り方、考え方等様々な話しをして行く中で、“組合員の健康を支えて行く”という点を理解し合い、生産者もこの考えを大切にしてくれるかということを中心として重視しています。

ぜひ組合員さんも畑に行き生産者と交流しながら、「マイファーマー」と感じてもらえるとうれしいです。「生産拠点が地場にある」ということの素晴らしさをみんなで分かち合い、共に苦労しながら支えあう。そうした関係を築いていく事が、持続可能な地域社会を作ることに繋がります。食べて、体験して、共に気持ちを寄り添う、そうした取り組みの一つが常総生協の「地場の有機野菜セット」です。

「地場の有機野菜セット」生産者紹介 ～石岡市の生産者の回～ ※別の回で他の生産者紹介をします。

### ■<sup>と</sup>ま<sup>み</sup>れ味農園（天池さん）の野菜セット（石岡市）

常総生協でもおなじみ、「やさとの仲間」の一人「とまれ味農園」の天池さん。天池さんは、有畜複合農業を行っています。まず欠かせないのが、「鶏」。自家配合飼料の中には、常総生協の生産者の「鈴木牧場」の牛の乳からとれる“ホエー”、岩手県海藻屋さん「コタニ」から“規格外のわかめ”も含まれています。もはや贅沢すぎる！と思うほどの飼料で育った鶏の卵は絶品です。

鶏糞をもみがらと米ぬかで発酵させた良質の堆肥によって、丈夫な作物が育つのです。土づくりに心血を注ぎあとは、「雨水のみで自然の力で育ててもらおう」という天池さんの言葉にも納得です。



※写真は6～8品目です。

5～6品目：940円（税込1015円）

6～8品目：1350円（税込1458円）



#### 《天池さんからのメッセージ》

自家製の有機肥料でおだやかに育てた野菜たちのマイルドな本来の味をお試ください。そして四季の移り変わりをセット野菜から感じ取っていただけたら幸いです。

### ■くわはら農園の野菜セット（石岡市）

堆肥は遺伝子組み換えの飼料を使っていない「平飼い鶏の鶏糞」とモミ殻を使っています。1～2年熟成させることで中のチッ素をやわらかくし、微生物が活性化され、良質な堆肥になります。また有機質肥料（自家製ボカシ肥料）も過剰に入れ過ぎません。ボカシの成分は植物性100%（米

ぬか、油カス、くず小麦、カキ殻、モミ殻くん炭) これを年 10 回作り、年間約 80 品目の野菜の土に定期的にまいていきます) です。

美味しさはもちろん、奥さんの治子さんが作るレシピが大好評!「野菜が届き台所で使う時、ネットや料理本を開くのが面倒!」というご自身の想いから、とても丁寧に解説されたレシピが届きます。



5 ~ 6 品目 : 940 円 (税込 1015 円)



《桑原さんからのメッセージ》

いつもご利用頂きありがとうございます。料理をするのが楽しくなるような、珍しいお野菜もレシピを付けてお届けいたします。身体にも心にもうれしいおいしい野菜生活はじめませんか?

■宇治田農場の野菜セット (石岡市)

30 年以上前に石岡で「たまごの会」という生産者グループの中心的生产者で活躍され、その後独立。養鶏の大ベテランでありながら鶏糞の堆肥で畑を作り、とれた野菜などを鶏の餌にするという有畜複合農業をおこなっています。圃場内では複数種類野菜を育てることで、害虫や微生物を単一化させない方法をとっています。こうすることで害虫同士が天敵になり、そこで食物連鎖が起こるように工夫を凝らしています。



長年培ってきた経験と理論を兼ね備え、石岡市(やさと)の新規就農者の相談にも乗っている先生的な存在です。

6 ~ 8 品目 : 1838 円 (税込 1985 円)



《宇治田さんからのメッセージ》

だんだん気候の変化が激しい時代になってきました。体調を維持するには体に良い食べ物もますます必要になると思います。今年も美味しくて体に良い食べ物ができるように努力します。

「地場の野菜セット契約」大募集中!! ※子育てクーポン対象商品です。

応募方法: ↓いずれかで OK!

- ① この用紙の申込チラシに「生産者/規格/配達パターン」を記入する。
- ② 注文書の意見欄・インターネット問合せ欄に「生産者/規格/配達パターン」を記入する。
- ③ ホームページの「情報発信中」もしくは、右の「QR コード」からも登録が可能です。  
(URL: <https://goo.gl/forms/eZiXawlf5WwaVBd82>)



野菜セット登録申込用 QR コード

◆野菜セット新規契約申し込み欄◆

\* 切り取ってご提出ください

☆野菜セットの契約を申し込みます!

- コース:
- 班名:
- 組合員番号:( )
- お名前:

■当てはまる箇所に○をつけてください。

【生産者】	【規格】	【配達パターン】
1、清水農園	3~4品、5~6品、7~9品	毎週・隔週・月1回
2、土れ味農園	5~6品、6~8品	毎週・隔週・月1回
3、微生物農法の会	5~6品	隔週
4、宇治田農園	6~8品	毎週・隔週・月1回
5、くわはら農園	5~6品	毎週・隔週・月1回

※配達開始回は、お申し込み頂いた人数によって5月2回~6月1回の間で調整させていただきますので、後日お届けする予定表でご確認下さい。

※配達期間は、清水さん・天池さんは5月2回~翌年2月3・または4回です。他は通年での出荷予定です。

# 魚住有機農学校

茨城県石岡市 魚住農園

有機農業を農場で学ぼう♪

有機農業アドバイザー 魚住道郎 (うおずみ みちお)

**プロフィール** 1950年生まれ。日本有機農業研究会理事長、有機農業推進協会理事、茨城県有機農業推進フォーラム会長。東京農業大学卒業。1973年、たまごの会農場建設に参画、同農場従事を経て、1980年、茨城県石岡市で専業農家として独立。

**農場のようす** 平飼い養鶏 600羽、水田 16 a、大豆麦等穀物畑 10 a、野菜畑 230 a、山林 5 a、ハウス(雨除) 3 a。

**著書** 『有機農業ハンドブック』『有機農業公園をつくろう』『食と農の原点 有機農業から未来へ』(以上、共著)、「解説 有機農業のバイブル」『農業聖典』など。

各地で講師活動。第17回環境保全型農業推進コンクール大賞(農林水産大臣賞)(有機農業部門、2013年2月)受賞。



## 1 テーマと募集対象者

**テーマ** 四季を通じた有機農業に触れ、自然と共生する里山を活かした有畜(養鶏)複合の有機農業を学びます。具体的には、季節ごとの有機農園での土作り、苗の植え付け、草取り、収穫作業、水田や里山の観察などを行いながらの土の上の講義です。

**募集対象者** 農家(新規就農者、既存農業からの有機農業への転換希望者)、消費者(有機農業や有機農場を知りたい方)、研究者・行政関係者・学生等。

**募集人員** 20名

## 2 日程と講義内容

全5回 2018年2月~9月 毎曜日曜日

時間 各回とも9時30分~16時

**第1回 2月25日(日)** 小農的有畜複合経営の概説(鶏・水稻・麦・野菜の周年栽培と提携の取組)。落葉集め、踏み込み温床作り、ジャガイモの植付け(キタアカリなど)、サツマイモの温床作り(ベニアズマなど)、野菜の播種(セルトレイ:キャベツ・ブロッコリーなど)、大根・人参(トンネル)の播種

**第2回 3月25日(日)** ネギ苗定植、人参(トンネル)除草、踏み込み温床作り(第2回目)、ナス・トマト・スイカ・カボチャ・ズッキーニ・インゲン・枝豆などの播種、コロコロ4条によるセル苗の定植(小松菜・春菊など)、サトイモ苗床伏せ込み

**第3回 5月13日(日)** 田植え(手植え)、果菜類の苗定植、玉ネギ収穫(つり玉貯蔵:一部)、ジャガイモ中耕除草、芽出しサトイモ苗の定植

**第4回 6月10日(日)** 玉ネギ・ニンニクの収穫、水田除草(円月雑草法の実演)、畑の除草(土郎丸活用)、2回目のキュウリ・しまうりの種まき

**第5回 9月16日(日)** 玉ネギ・ネギの播種、キャベツ・ブロッコリー苗の定植、越冬白菜、秋冬用の葉物のセルトレイ播種

## 3 受講料

1回 3000円(全5回参加 15000円)

受講料納付先 日本有機農業研究会事務局  
 次回の申込みは、魚住農園でも受け付けます。

## 4 場所と交通

**場所** 茨城県石岡市嘉良寿理 348 魚住農園

**連絡先** 魚住農園 電話/FAX 0299-43-6826

**集合** 電車JR常磐線「石岡駅」午前9時集合、または9時30分までに魚住農園に来て下さい。

(最寄駅からの送迎については相談)

## 5 服装と持ち物

農作業ができる服装、帽子・手袋・タオル、長靴または作業可能な靴、水筒など

## 6 昼食と飲み物

各自でおにぎりを持参してください。おかずは魚住農園で用意します。

## 7 その他

季節の野菜等のお土産あり。

## 8 参加申込

各回の申込は、開催日の一週間前までに申込して下さい。なお、全5回の申込もできます。折り返し、振込用紙等を送付します。

**申込み先** 日本有機農業研究会事務局

電話 03-6265-0148

FAX 03-6265-0149 メール info@joaa.net